

聖光学院管弦楽団

第30回記念演奏会



モーツァルト

歌劇《魔笛》K.620 序曲

シベリウス

交響曲 第7番 ハ長調 Op.105

サン＝サーンス

交響曲 第3番 ハ短調 Op.78
《オルガン付き》

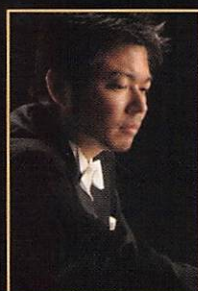
2024.9.8 Sun.

聖光学院ラムネホール

13:15開場 14:00開演

全席指定（事前予約制）

一般 1,000円 / 学生 500円



指揮
田部井 剛



オルガン
野田 優子

チケット

7/8(月)より一般販売開始。
teketにて『聖光学院管弦楽団』と
検索してください。
<https://teket.jp/events>



? お問い合わせ

メール：
info@seiko-phil.org
フォーム：
<https://seiko-phil.org/inquiry.php>



30th Biannual Concert

田部井 剛（指揮）

早稲田大学商学部卒業。東京音楽大学指揮科研究生修了、東京芸術大学指揮科卒業。1999年、芸大在学中に日本フィルにて巨匠エリック・ハイドシェック氏とマルセル・デラノワ作曲「5月の協奏曲」を協演・指揮（日本初演）。ハイドシェック氏は、田部井の読譜能力の高さ、また叙情的でリズムに溢れた演奏に対し、「ヤング・トスカニーニ」と讃えた。2003年に室内合奏団「カメラータ・ジオン」を結成、2005年にはハイドシェック夫妻との国内ツアーを成功させ話題を呼んだ。2006年にはチェコの名門ターリヒ室内管を指揮しモーツァルトの交響曲をレコーディング、2013年には伝説のチェリストと謳われるクリスティーン・ワレフスカ女史とドボルジャークのチェロ協奏曲を共演、氏より「偉大な才能」と高く評価された。2018年にはハイドシェック来日50周年記念ツアーを指揮し絶賛される。また、ピアニストとしても非凡な能力を発揮し、ウィーンフィル首席チェロ奏者フリッツ・ドレシャル氏等と共演している。2020年にはカブレ編によるピアノ2台6手版ドビュッシーの「海」のCDをottava社よりリリース、レコード芸術誌特選盤となった。2009年、上毛芸術文化賞受賞。

野田 優子（オルガン）

東京都出身。東洋英和女学院にてオルガンに出会い、河野和雄氏の指導のもと12歳よりパイプオルガンを始める。東京藝術大学オルガン専攻に進学し、徳岡めぐみ氏に師事。大学卒業に際し学内において同声会賞を受賞、同時に同声会主催の新人演奏会に出演。東京藝術大学大学院修士課程修了。第10回モーニング・コンサートにソリストとして出演し、藝大フィルハーモニアと共演する。大学院在学中、一時休学しドイツ国立ハンブルク音楽演劇大学にて修士課程修了。オルガンをヴォルフガング・ツェラー氏に、チェンバロをメノ・ファン・デルフト、カーステン・ロフの各氏に師事する。日本オルガニスト協会会員、日本基督教団渋谷教会オルガニスト、聖光学院講師。

聖光学院管弦楽団

聖光学院の保護者、教員、OBなどによって結成されたオーケストラで（現役生を含まない）、年二回の定期演奏会を開催、その他本校の音楽行事などにも参加。2000年9月、高橋隆元氏を指揮者に第1回定期演奏会を開催し、以後、ピアニストの有森直樹氏、ヴァイオリニストの川畠成道氏、チェリストの藤森亮一氏、本校卒業生でピアニストの川口成彦氏と共演。2014年10月の第11回定期演奏会より田部井剛氏を指揮者に迎え、ヴァイオリニストの梅津美葉氏、漆原啓子氏、チェリストの森田啓佑氏、ピアニストの今川裕代氏、ホルニストの福川伸陽氏とも共演。2021年10月、川口成彦氏と再度の共演。2023年4月、チェリストの宮田大氏、2024年3月、ピアニストの福岡洸太郎氏と共演。

📍 アクセス

JR根岸線「山手駅」徒歩8分



⚠️ ご来場の方へ

- ・当校の駐車場はご利用いただけません。公共交通機関でご来場いただきますようお願い申し上げます。
- ・車いすでお越しのお客様は予めご連絡ください。（連絡先：info@seiko-phil.org）

公式SNSにて
情報発信中！



Instagram



X



Facebook